

Investigation of the effect of epirubicin micelles against glioma initiating cells

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-02-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中島, 温 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00032112

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	甲 第 681 号	氏 名	中 島 温
審 査 委 員 会	主 査 教 授	村 垣 善 浩	
論文審査の要旨 (400 字以内) 膠芽腫は根治困難な悪性脳腫瘍であり、幹細胞性を持つ細胞群がその原因とされている。ドラッグスクリーニングにおいて、エピルビシンがヒト膠芽腫幹細胞に <i>in vitro</i> で高い増殖抑制効果を示すことが報告されている。エピルビシンの血液脳関門通過性は低く、ミセル等のドラッグデリバリーシステムの有効性が期待されている。 本研究では、幹細胞性を持つマウス誘導型グリオーマ起源細胞(Glioma initiating cells: GICs)を用いて、エピルビシンミセルの有効性を <i>in vitro</i> 、 <i>ex vivo</i> で検討した。増殖抑制効果がスフェア形成アッセイ、培養脳切片を用いた評価系において認められた。培養脳切片において薬剤投与開始時の腫瘍の大きさと抗腫瘍効果が逆相関を示したことから、臨床応用の際、早期からの投与開始が重要である可能性が示唆された。 . 本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]			